

卒業生がやって来た！

帝塚山大学三回生の前田紘希君が大学のパンフレットに掲載された報告のために、堀先生に会いに来てくれました！車が大好きなために、販売の営業職を目指しているそうです。希望の会社に就職できることを祈っています。



(堀先生と前田紘希くん)



学外実習で一番印象に残っているのは吉野。奈良が文学や歴史の舞台になっていることが実感できました。こういった体験で得た知識をもとに、今後は地域とのプロジェクトを手がけたいです。

前田 紘希さん  
文学部 日本文化学科 3年  
久御山高校(京都)出身




3月の大事なお知らせ

29日(火)30日(水)

31日(木)は休講日です。



欠席の際のご連絡は塾か担当の先生のどちらか一方で結構です。

送迎によるわずかな遅刻でも遅延表に記載します。25分累積されれば30分授業延長致します。



明塾送迎車はコロナ対策の為、エアコン作動中も外気導入の換気をしております。

オッケー #87. おかたづけ OKURAKINTASAKURA 作/ヴァンゆみ



教務部長からの一言



どこにもないってことだよ。大事なことは本当に出来るっていう事実があることだよ。」と言うと、次の週、「先生、こんだけやった！」とプリントをたくさん差し出してきました。そして、「初めて自信ついた気がする。」と言いました。そうです。本当にやった人だけが自信を持てます。

(教務部長 増子好雄)

「本気出したら出来るし。」 「頑張ったら出来るし。」 「えっ、本気あるの？」 「ほんとに頑張るの？」 「本気出したら」とか「頑張ったら」とかいう言葉は、出来るかどうか分からない不安な自分と向き合うのが怖くて、「きつと出来る」と思うことで安心しようとしている、とても弱い状態です。これでは試合や試験で戦えません。「たぶん出来る。」と言った生徒がいました。私が「たぶん出来るって言うてるうちは、出来た事実は

明塾のホームページにコメントを載せています。スマホからは、「教務部長からの一言」で検索すると、過去のコメントもご覧になれます。

